

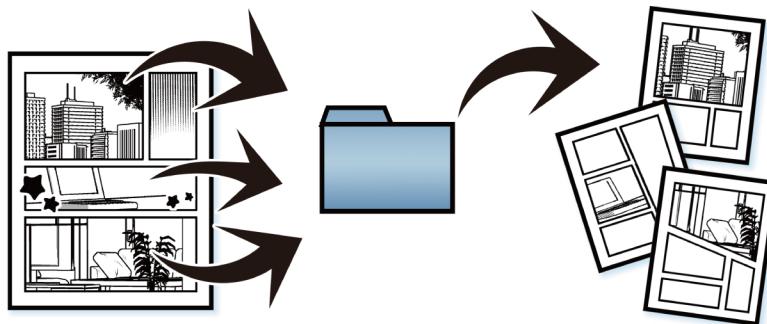
今回、主人公ハナジとその仲間たちの話題に上った、ComicStudio の機能や使い方をしっかり復習できる「強化メニュー」です。さらなるレベルアップを目指そう！

第04回 『準備のためのマテリアル登録』より

ノッポのおすすめ機能 [マテリアル] では、ページ、コマ、トーンなど色々な素材を登録することができます。最初は「いったいどうやって使えばいいの？」と戸惑う人も多いのですが、使い方を覚えると、とても便利な機能なのです。

マテリアルってなんだ？

[マテリアル] は、ComicStudio で作成したページやコマ、トーンなどを登録し、他のページやコマで使うことができる機能です。

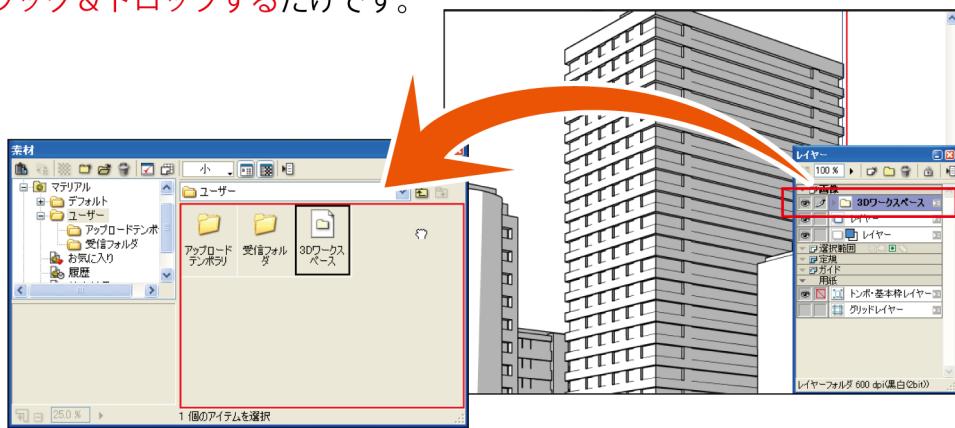


マテリアルを使ってみよう！

それでは、実際に [マテリアル] に素材を登録して使ってみましょう。

マテリアルに素材を登録する！

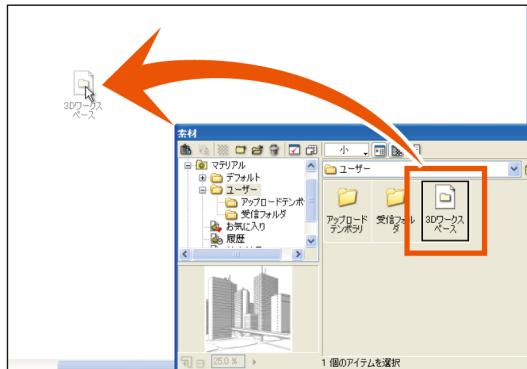
[マテリアル] に素材を登録するには、[マテリアル] のユーザーフォルダに登録したい素材をドラッグ & ドロップするだけです。



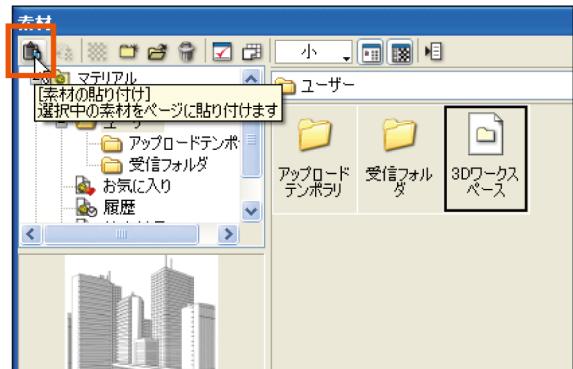
[マテリアル] には、[基本枠]、[ガイド]、[グリッド]、[不明なレイヤー] 以外のレイヤーを登録することができます。[マテリアル] に登録した素材を削除する時は、削除したい素材をクリックして、[削除] ボタンを押します。

登録した素材を使う！

[マテリアル] に登録した素材を使用するには、**使用したい素材をドラッグ & ドロップする**か、[素材パレット] の [素材の貼り付け] ボタンをクリックします。

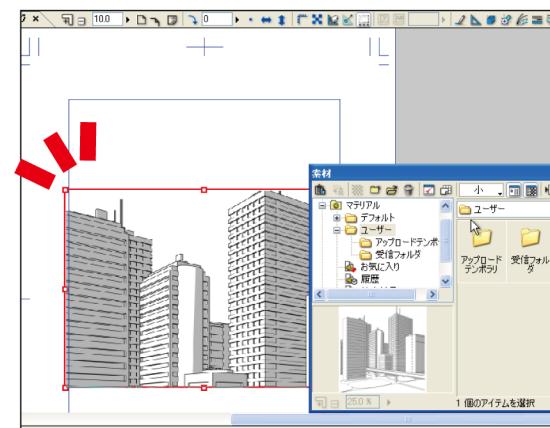
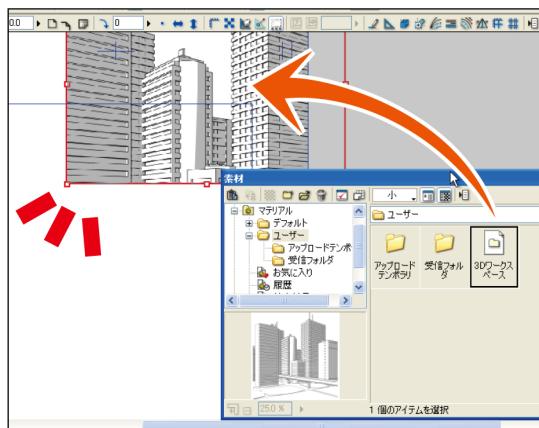


[マテリアル] からドラッグ & ドロップする



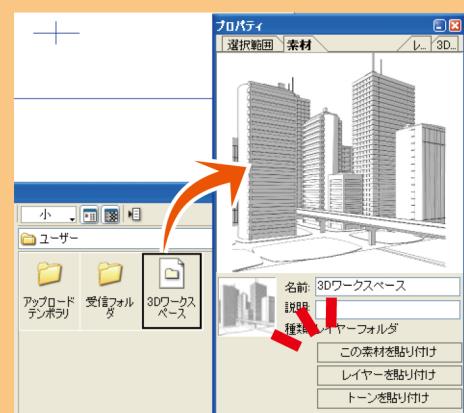
[素材の貼り付け] ボタンをクリックする

ドラッグ & ドロップしたときは **ドラッグ & ドロップした場所** に、[素材の貼り付け] ボタンで素材を貼り付けた場合には、**登録時の位置** に貼り付けされます。



Memo 登録時の位置に貼り付ける方法あれこれ

shift キーを押しながらドラッグ & ドロップすることで、[素材の貼り付け] ボタンと同じ効果になります。また、素材をダブルクリックして開く [素材のプロパティ] の [この素材を貼り付け] を押すと、登録時の位置に貼り付けることができます。



色々な素材を登録できる[マテリアル]。実際、どんな便利な使い方があるのでしょうか？

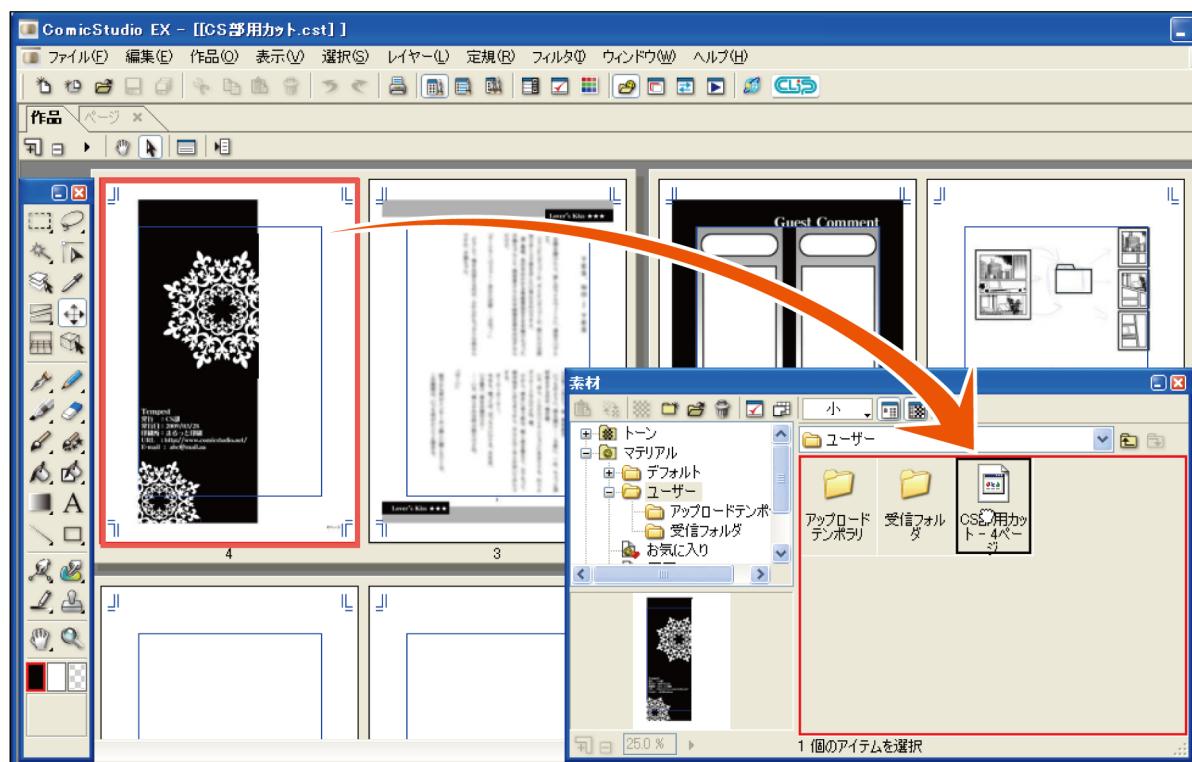
背景や小物……よく使う素材を登録！

背景や、使い回しのきく小物を登録しておくと便利です。よく使う背景を描いて保存しておけば、何度でも他のシーンで使うことができます。



ページのバックアップにも

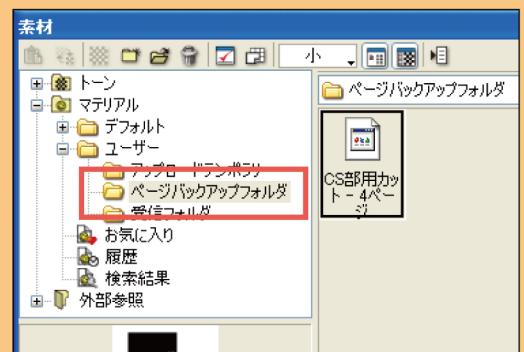
ネームを切っていて、「このページ、カットしようかなあ……どうしよう？」って悩む時ありますよね？そんな時は、悩んだページをマテリアルに登録しておきましょう。マテリアルに登録しておけば、後で必要になった時も簡単に元に戻せます。



バックアップしたいページを[マテリアル]へドラッグ＆ドロップする

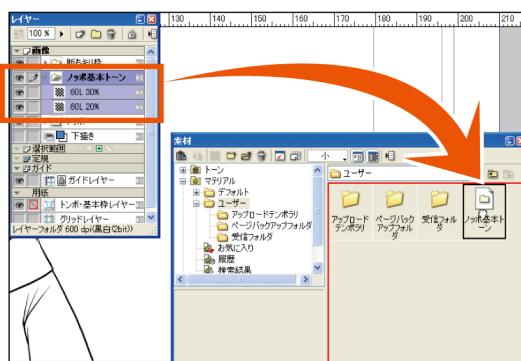
Memo [ページを素材パレットにバックアップする]

ページを削除する時にコッソリ表示されている、[ページを素材パレットにバックアップする]のチェックボックス。ここにチェックを入れておくと、自動的に削除したページが[マテリアル]の中の[ユーザーフォルダ]にある[ページバックアップフォルダ]に保存されます。迷っている時にはここにチェックを入れておきましょう。

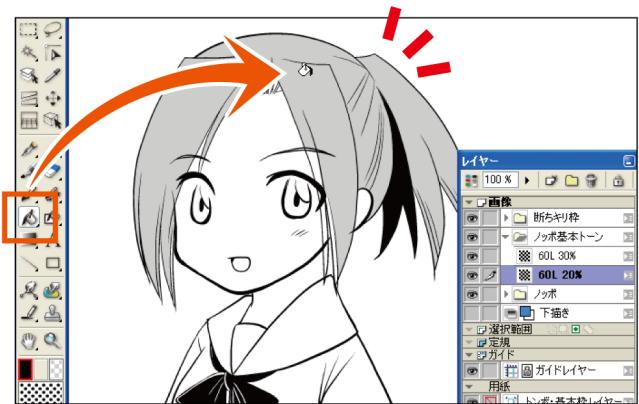


トーンを登録しておけば、作業を効率化！

キャラクターの髪や洋服を使うトーンをレイヤーフォルダにまとめて登録しておけば、トーン作業を効率化できます。



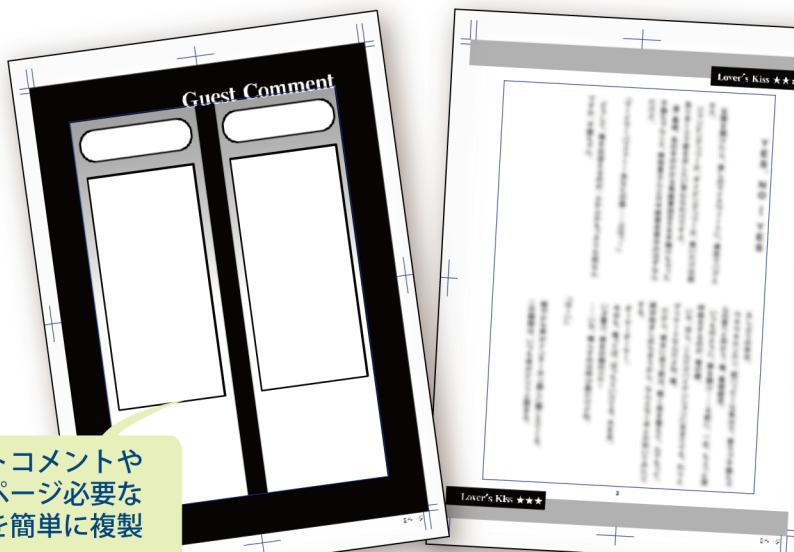
レイヤーフォルダに何も貼ってないトーンをまとめて、マテリアルに登録します。



ブラック&ドロップして、後は塗りつぶしツールでクリックしていくばトーンが貼れます。

同人誌制作にも？

同人誌に毎回決まって使う、奥付やコメントページ等を登録しておけば、他の本でも使うことができます。また、[マテリアル]を上手く使えば、ページのヘッダー&フッターを簡単に作成することができます。



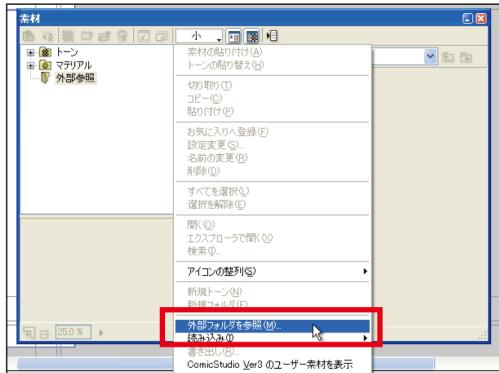
ページのヘッダー&フッターの作成も簡単



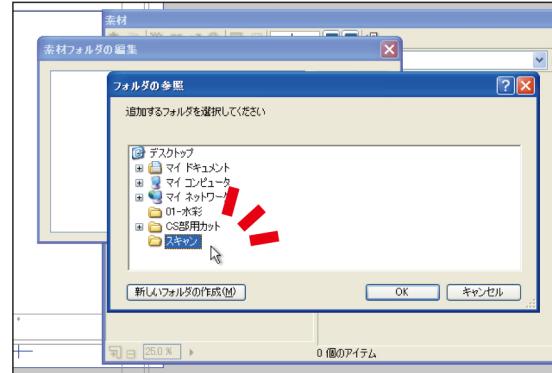


ちょっと応用……外部参照

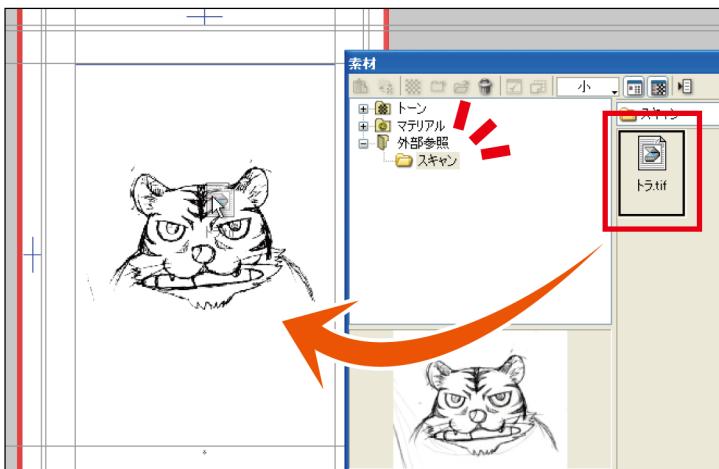
素材パレットには[外部参照]という、パソコンに入っているデータを参照できる機能があります。この機能を使うと、ドラッグ&ドロップで画像の読み込みができます。



素材パレットのサブメニューで
[外部フォルダの参照]を選んで……



参照するフォルダを指定します。



追加したフォルダは、[外部参照]をクリックすると表示され、
ドラッグ&ドロップで読み込むことができます。

例えば、スキャンした原稿をまとめめるフォルダを作つておいて、そのフォルダを参照しておけば、ドラッグ&ドロップでページに読み込むことができます。この方法だと、PSD形式は1枚のレイヤーとして読み込まれます。レイヤー情報を保持したままPSD形式のファイルを読み込みたい時は、[ファイル]メニューの[読み込み]から[Photoshopファイル]を選んでください。

使い方次第で色々使える[マテリアル]。自分なりの使い方を見つけてください。